第９回　稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：平成３０年 10 月26 日（金）午後１時 30～
場所：稲敷市役所本庁舎　３階北３２１会議室

進行・時間	発　言　内　容

１．開会

事務局	それでは改めましてこんにちは。ただいまより第９回目の外部評価委員会を開催させていただきたいと思います。 早速ですが、会場を移して、１時 30 分から予定をしております副市長への報告に移りたいと思います。それでは別室に移動の方よろしくお願いします。
事務局	先に写真撮影をして、報告に入りたいと思います。 よろしくお願いいたします。

２．副市長への報告（応接室にて）

１）外部評価結果の報告

２）写真撮影（外部評価委員）

３）副市長挨拶

副市長	ご承知の通り、今月の 14 日に田口市長が急逝され、その僅か１週間後に初代市長の高城氏も亡くなられました。職員も非常に不安や動揺があり、バタバタしているのが正直なところです。ただ、事業を撤退させるということはないように、我々も頑張っているところです。特に今横須賀委員長からお渡しをいただきました外部評価の報告書については、委員の皆様が８月からの僅か２ヶ月でまとめていただき、しかも昨年より内容も職員にとって非常に鋭い指摘があると聞いております。我々としては評価委員の皆様から言われたから直すのではなく、むしろ指摘されたことをどう改善するのか、また指摘されないようにどんな事務においても常に改善をするような組織や担当職員となれるように、今回受けた報告書をどう職員にフィードバックしていくか、仕組みをつくっていくのか、というのが最も重要なことであると思っております。ひいてはそれが、市民サービスにつながると思っておりますので、外部評価委員の皆様方には非常にお忙しい中、あるいは嫌な役目をやるというところもあると思いますが、引き続き色々とご指導をいただければと思っておりますので、宜しくお願いいたします。色々とありがとうございました。

４）各委員の公表

横須賀委員長	２年目ということで、顔ぶれも同じでなんとなくお互い気兼ねなくいけるような雰囲気になりまして、去年より少しきつくしようというニュアンスが全体にありました。しかし、結果を見ると去年はそのままで大丈夫であったものの数と、今年は大丈夫であったものの数の比率が随分異なり、今年は厳しかったと思います。しかし、３回４回と実施するうちにきっと

	受ける側も慣れてくると思います。そうすると、このように改善しておかないとまずいということで、内部的に議論をするようになると思います。やはり内部の議論が一番大事だと思いますので、常にそのような議論する癖がついてくると、きっと変わってくるのではないかと思います。委員の皆さんも、そのつもりで色々発言していただいているのではないかと思いますので、これが少しでも形になればありがたいなと思っております。
諸岡副委員長	２年目と言うことで少し１年目を振り返ったのですが、自分は稲敷市の市民でありますから、住民のニーズの視点に立つことを心がけようと思いました。１年目は正直自分でも何が何だかあまり分からない状態で、自分でも振り返ってみると、事業に対する質問、分からないことに対する質問が多かったのですが、今年はただ質問するだけではなく、内容的に公平性・経済的な所までお話を伺いました。ただ気を付けたのは、職員の皆さんが一生懸命頑張っていらっしゃるので、委員として否定的な言動をしないように、私自身は気を付けたつもりでいます。最後に書かせてもらったのですが、一緒に稲敷市のために頑張っていきたいという思いが有りました。
小林委員	副市長も昨年は政策調整部長をやられていた時に色々参加していただいて、お分かりかと思いますが、やはり最終的には皆さん意見は一緒であると思うのですが、いかにして市役所の中で市民のための行政サービスをやっていっていただけるかという一言に尽きると思っております。その取り組みの手法として、様々なものがあると思いますが、課によって取り組みが甘い部分もあると思うので、最終的には何を目標にして事業を進めていくかということを念頭に置き、職員の方々がそれに向かってより良い市民サービスに向けて尽力していただきたいです。また、実際的にサービスを受けたくても受けられない、制度の縛りがきつすぎるなど、市民サービスを提供するためには、ある程度門戸を広げてあげることも必要であると思います。さらには、もう少し稲敷市の人口を安定的に増やしていくことが目的として１番大きいと思います。そうではないとますます人口が下がってきています。そのような目的意識の中で、皆さん頑張っていただければという風に思います。
中村委員	私は市民ではないので、市民ではない視点で考えますと、各論では合格点でも全体的に見ると、まだまだ人口減少に対して取り組む大枠から見ると、足りない部分が多いと感じています。また、各事業のヒアリングから、まだ金額的に削れる部分もあるように見受けられますので、大きい目で配分を変えていくという視点が必要ではないかということを報告書の総評に書かせていただきました。
野村委員	私の方はそれぞれの委員さんがおっしゃった通りそのままなのですが、今回の 32 事業に対して、公表では述べさせて頂きました。私は行政経験もなく、一市民の目線で市役所の皆様が説明して下さるヒアリングに参加させていただいたのですが、こんな事業もあったんだ、こんなことを市役所はやっていたのか、色々なことに取り組んでいるなどということに感心しながらも、全然知らなかったのでもっと教えてあげたいなという部分もあり、もっと PR してあげればいいのにと思いました。ただパンフレットを置くだけでは寂しいです。例えば、電子母子手帳は保健師さんの方から聞くと、この間も検診で、パンフレットのことを知らない方が結構多かったです。たまたま NHK のニュースで大府市が初めて国の補助金で電子母子手帳を取り入れたことが流れており、稲敷市でもヒアリングの時には初めて県でも取り組んでいますということをおっしゃっていたので、もっと市

	民に周知してほしいと思います。しかし、赤ちゃんを持っているお母さん達に聞くと、電子母子手帳があり、スマートフォンで問診票が届けられて、凄く便利ではないかと思ったら意外に行ってから書いた方が良かったなど、それが全て良いというわけではなく、従来ある母子手帳もそれはそれで大事であると思う人もいます。利用する人によって考えは変わりますので、１人１人のお母さんに合ったサービスが出来ればいいんだというな対応で、何が何でもそれを PR しなくても、要はお母さんたちが安心して子育てしやすいものであればいいと思います。 　もう１つ、稲敷子ども大学について、特別に１つ書いてしまったのですが、市の意図とは全く違う取り込みなのかもしれませんが、今の子供達に稲敷市に愛着を持ってもらいたいなという気持ちがどうしても大きいです。何故かというと合併して、私（旧新利根町）もよく他の３地域（江戸崎、東、桜川地区）のことをあまり知らないのです。ですから、今の子供達は同じ市民で同じ市の小学校で育っているので、稲敷市に愛着を持って、大きくなってもらいたいなと思いましたので、それを市長さんにも聞いていただければと思います。
副市長	まだ職員も実は外部評価に対して事業仕分けのイメージを持っているような所も有り、少し指摘されるとやるかやらないかという極端で短絡的な話になっているようです。実は委員の皆様が言っているような無駄なども勿論ありますが、そうではなくていいものをもっと良くした方が良いのではないかという話を、基本的にはそういう考え方でやられていると思います。ですので、我々は指摘されたことに対してどう改善していけばということもあり、事業を止めるのではなくこちらの事業と一緒にやればもっと効果が出るのではないか、あるいはもう少し PR を上手くやればもっと市民に喜ばれるのではないかということがあると思うので、是非そういう視点で職員一人一人が考えて貰えるように、内部の仕組みをどうやって作っていくかを、市の担当と話し合っていきたいと思っております。 　昨年度に市民農園の事業が唯一「適正でない」という評価を受けましたが、今年に改善できているかと思ったら改善できていませんでした。同じことを同じようにやっているということなので、今後はそういったことがないようにしたいです。すぐに止めるのではなくて、もっといい活用の仕方があるのかもしれません。そうでなかったら止めるにはどうするのかとかいう話すら出来ていないということもあるので、そこは我々も上手く今回の外部評価を活用して、行政の運営に反映させていきたいと思っています。
横須賀委員長	どうしても旧来の形に囚われがちですので、それがあまり行き過ぎると、本当の所が見えなくなり、日本の今の民間企業の上の人が出て来て、頭を下げるような、そういうことがどうしても多くなってしまいます。我々も高山副市長がテレビで頭を下げている画像はあまり見たくありません。そういう意味では、全体のコンプライアンスを考えると、やはり直す所はきちんと直していくことが浸透してくれば、きっとそういうことも無くなると思います。ミスはどこにいってもあるので、そのミスをどうやって無くすのかが大切です。今の時代ですから、機械的なことを取り入れて、人間の上で見つからないことを機械に見つけさせて、機械の見つけられないことを人間が見つけるような体制に持っていければ、大きく仕事の仕方も変わってくると思います。そういう中できっと、トップが出て来て頭を下げてもいいような体制が出来てくるのではないかと思います。
副市長	実は来年度大きな組織の改編を考えています。合併してから少し組織が

	細分化しすぎて、専門的になりすぎており、なおさら硬直した考え方になっているために、同じことを毎年やる考えになってしまっていますので、統合してもう少し弾力的にし、意識を変える、人事制度そのものも変えるような取り組みにも入っていきたいと思っています。
委員	やはり内部評価、外部評価のいい結果といいますか、ある意味、意思決定が必要なのですが、内部評価、外部評価の結果でこのように変わったというような結果が出るといいと思います。
委員	４月だとかなり人事異動があります。なので、その時に携わっている職員の方や課長さん・担当の方などに、色々な内部評価・外部評価も勿論そうなのですが、そのようなコメントを出してもらったものを、その時点では意識付けされたとしても、４月にうまく引き継ぎをしていただかないと、結局また後ろに戻ってしまう気がします。今、副市長さんがおっしゃったように、大々的な機構改革があるということで課も再編されますが、そういった中でやはりそのような事を注意して進めていただければ、より要領がよくなると思います。
副市長	そのような意味でも外部評価の位置づけは非常に重要なので、やはりこれからもこのような形で続けてもらって、常に外の目でみてもらうことは必要であると思います。我々だけですと、ついつい目の前のやることだけになってしまいます。
委員	確かに行政に携わっていると、内部評価を受けてもそういうものであるという意識しか意識付けが出来なくなってしまい、見えていない部分が当たり前に見えてしまうということもあります。
委員長	しかし、今回事業を選択する過程で、事務局では各課に対象事業を必ず一つ充てるようにして、市役所全体できちんとやる雰囲気を作ろうと考えていただいたようです。２年目では中々難しいかもれませんが、３年目、４年目で少しずつ定着していくと思います。
副市長	あとはいかに内部が変われるかということです。受けた評価をいかに改善できる仕組みを作っていくか。言われたことのみをやるというのもしょうがないですし、見直させるようになっていかないといけません。
委員長	これから新しい市長を迎えて、新しい形を作っていかなくてはならないので、それはそれでまた一仕事ですね。
副市長	行政はある程度継続性が必要なので、急に変わると言うことは無いとは思います。
委員長	やるべきことはきちんとやっていかなくてはなりません。 変わり方によっても、職場の雰囲気は違います。私も何度か経験していますが、そのまま継ぐような方がなった時は、内部も全く緊張がありませんでした。大きく流れが変わった時は、皆さん緊張していました。その緊張が良い方向に行けばいいですけどね。きっと１番苦労するのではないかと思います。
副市長	こればかりはしょうがないです。４年に１回は選挙があり、常に変わる可能性がありますから。
委員長	人口が減ったといっても、事実ではありますが、もっと危機的な市町村はたくさんあります。それを考えれば稲敷市はまだ手が打てる段階だと思います。
副市長	まだ、工業団地をやりましょうと言える地域なので、それだけのポテンシャルがあるということであり、まだ本当にいいのだと思います。逆に頑張ればどうにかなると思います。

委員長	全国的には一生懸命に移住者を入れたりして、成功だといっている所も有りますが、本当に成功なのかなと疑問に思って聞いています。やはり簡単にはいきません。そこを考えたら、まだここは地域的に色々なポテンシャルを沢山持っていますので、まだまだ可能性はあると思います。
委員	茨城県南地域の強みではないでしょうか。
委員長	それは明らかにそうですね。学校給食のパンの話が新聞に載っていましたが、北茨城市と高萩市は、いわき市の業者を使用して、日立市は水戸の業者が運んでいるそうです。市内にパン屋はありますが、学校給食の規模でパンをやる所がないそうです。利幅が少ないから皆辞めてしまうそうです。水戸は３軒位のパン屋が学校給食をやっていると思いますが、水戸市のみを対象にしていると思ったら、かなり広範囲にやっているのですね。北の方は本屋がない市町村も沢山ありますし、教科書をどうやって配るのかと騒ぎが起きた地域もあります。そういう意味で色々なことが色々な所で起きている中では、あまり安閑としてはいられませんが、まだ逆転の可能性のポテンシャルがあると思います。圏央道の江戸崎パーキングエリアは沢山の車が止まっています。ただ止まって休んでいるだけではもったいないと思います。
委員	以前に地場産業の野菜などを出来れば販売したいという話がありましたが、難しいみたいです。
副市長	その件については NEXCO に対して強く働きかけています。中にコンビニを作って欲しい、コンビニに併設して地場産品を販売するスペースを入れて欲しいということを強く要望しているのですが、どうしても承諾いただけません。なので、江戸崎パーキングエリアにはトイレと自販機しかありません。あれだけの台数が止まっているのに勿体無いです。
委員	全線ではありませんが、東関道に接続してからとても車の数が増えました。いつも車が沢山停まっています。
委員長	きっと完全４車線になればもっと凄い車の量が流れるでしょうしね。可能性はゴロゴロ転がっているような気がします。
副市長	だからといって諦めず、それは国に対して根気よく働きかけないといけないと思います。
委員	圏央道はそもそもパーキングエリアが少ないので、せっかく稲敷市にあるので活用できればいいと思います。
委員	４車線化の目途はまだ立っていないのですか。
政策調整部長	2024 年度を目標にしています。ただ目標年度で、現実的には用地買収が難航している所も有るので、追い越し車線をどんどん作りながら４車線にしていくのだと思います。
副市長	本当に圏央道は交通量が多いです。休みの日は渋滞しています。
委員長	圏央道を利用する際には、混雑する時間は考えないとまずいです。
委員	全線でもインターチェンジが２つある市町村は少ないじゃないですか。隣接する阿見町でも１か所しかないですし、稲敷市は２つあります。
政策調整部長	圏央道を使って、稲敷市を東へ抜ける時、切土の道路を通ってきて、いきなり広い眺望があり、とてもいい景色であるといってくださった方が多いです。

委員	パーキングの施設もつくっていただければ、地域活性化で農家の人も野菜などの販路を拡大し、そのような所に繋がってくると思います。
委員長	この「稲敷いなのすけ」という市のマスコットキャラクターは人気があるのですか。
副市長	人気はあります。
政策調整部長	いなのすけの人気はあります。市内の子ども達がいなのすけを好きになってくれているので、子どもたちの支持を得てもらっています。
委員	予防接種をすると、いなのすけのハンカチが貰えます。
委員長	市民協働指針の表紙でいなのすけをもっと大々的に表紙にしてほしいという要望がありましたが、デザイナーにいわせるとこれ以上大きくするのはおかしいでしょうという話でした。それ位愛着があるんだなと思いました。
村委員	バスにもいなのすけの絵が書いて有り、お迎えに来たバスにいなのすけが描いてあると幼稚園児は皆喜びます。
政策調整部長	いなのすけは合併 10 周年の時に作りました。いなのすけはまだ誕生して３年ですけど、大分子ども達に定着しました。ゆるキャラが多いという話もありましたが、市では子ども達に好かれるのが一番であると思っています。
副市長	この間県庁の若い女性職員が来庁したのですが、秘書課の前にいなのすけ人形などが色々と置いてあるのを見たらとても喜んでいました。
委員長	それで稲敷の特産物であるかぼちゃやお米などをきちんと理解してくれたらそれが一番いいですよね。 副市長のお時間もあるでしょうから、一旦これにて終わりとしましょう。ありがとうございました。

（３）その他（会議室にて）

事務局	ご報告ありがとうございました。その他で何かあればお願いします。
委員長	全然違う話なのですが、霞ヶ浦サイクリングロードを先週 21 日に知り合いに見て来てくれということで、江戸崎体育館に車を置いて、自転車道がまちとどう繋がりがあるか、３人か４人で行ったらしいのです。 そしたら、市役所の担当者は現場を見ていないと、体育館から残念ながらサイクリングロードにすんなりいける自転車の道が見つかりませんでした。色々な所に行ったので、しまなみ海道の写真などを付けて、こういう風にしていただくといいねというのを渡してみました。パンフレットを作って終わりではなくて、その手の好きな人達に意見を聞くと随分違うかもしれません。彼ら曰く、カスイチ(霞ヶ浦１周)の高速道路のインターチェンジから一番近いコースが稲敷です。ですので、それを上手く宣伝して上手くルートが取れれば、それなりに人は集められると思います。土浦の駅前に出てから霞ヶ浦に出るには、有料駐車場にコインを入れなければなりません。向こうの風車が有る所は停められる台数が限られています。そういう意味で言うとこちらは無料で停められ、シャワーも使えて、食べもの屋さんも有ります。彼らは必ず食事と甘いものが運動をするので付き物らしいのです。そういう意味では条件が揃っています。上手くやらないと勿体ないという話をしていました。可能性は色々な所に転がっていると思いました。ただ、市の職員がなんとなくこうだねと思ってやるだけでは、本

	当に自転車乗りの目線と全然違います。そのような所を解決していけば、色々な面から魅力を発信できると思います。
委員	一番手っ取り早そうですよね。アクセスを繋がれる所を上手くやってほしいと思います。それを使えるかどうかは別にしても、体育館にはシャワーがありますよね。
事務局	体育館に行ってきまして、シャワーを見せて貰ったのですが、シャワーは５カ所ありました。委員長からもお話があったように、実際に自転車道との繋がりをみて２つ思いました。１つはこのマップの道路は駄目だなとその時に初めて感じました。舗装していない方にマップの線は引っ張ってあったのですね。
委員長	両方の道路に行ってみたらしいです。どちらも駄目だったようです。
事務局	堤防の下を通らないと駄目みたいです。もう１つはシャワーが利用時間は 30 分でした。どうもシャワーが現在故障しているとのことです。
委員長	シャワーのことは安全ということのみ分かっていればいいと思います。
事務局	シャワーの方はまあまあ綺麗で、逆に使ってる人がいないのかなと思いました。ですので、ボイラーの調子もあまり良くないのかもしれません。これから直せると思います。それにしても霞ヶ浦サイクリングロードへのアクセス道路は失敗であるなと思います。
委員長	今の自転車の人口は物凄い数です。自転車人口とはいえ、結果的に車で現場まで行き、スタートするのが多いようです。東京の人達は、電車の中に自転車を持ち込む場合には、自転車をバラさないと中々乗れないので、レンタカーを借りて現場まで行っています。そのような状況がセオリーらしいので、誰かがここはいいよというと人が沢山集まるそうです。そういう意味ではやればやるなりに人は来ると思います。
事務局	今、体感で駐車場はそこそこあり、施設に行ったら施設のルールで使っていただく分にはいいという話は貰っていますので、色々な考えをやっていきたいと思っています。
委員長	江戸崎体育館に行った知り合いは、霞ヶ浦サイクリングロードをブログで少し宣伝しようと思ったらしいです。でも、今回はできないなと言っていました。
委員	土浦市の方ではそのレンタサイクルやっていますよね。
委員長	土浦市の方では、電車で土浦駅まで行き、駅で自転車を組み立て走るしか基本的には方法が無いので、駅前に行き、どこに車を駐車したらいいのかを考えると、絶対に稲敷市の方が有利だと思います。電車でも袋に入れれば自転車は乗せられます。しかし、袋に入れると言うことは、前輪も後輪も外すということです。自転車が本当に好きな人は後輪を外すことを嫌がるらしいです。屋根の上に乗せることも嫌がるらしいです。100 ㎞を走った時に、100 ㎞の風に自転車が当たるわけじゃないですか。そうすると、それなりに自分達が 40 ㎞で走っているのと同じように、車体が歪んで疲労するようです。なので、カーボン素材は屋根の上に乗せないみたいです。自転車の世界の人は、そのようなことに色々うるさいことがあるので SUV 車が走り、その中に自転車を入れて降ろすことが自転車の人達の流れみたいです。自転車好きな人は結構色々な所に行きます。佐渡島は毎年行くみたいですし、しまなみ海道は聖地で３年に１回は行くみたいです。あの景色はここには無いですが、ここの利点は何より近いことです。自転車に乗る人の距離を聞くと、ここ以外だと一番近いのは浜名湖らしいで

	す。東京の人は浜名湖には普通に行くらしいです。水戸の人も浜名湖まで多くの人が行くらしいです。
委員	それならば、関東エリアが良ければ引きつけられますよね。
委員長	関東エリアは 1 日で 50 キロ 100 キロ乗れる場所があるようでありません。佐渡島には 100 キロコースがあるので、２泊位でフェリーに乗っていくという話を聞くと、浜名湖は水戸から行く人でも日帰りらしいです。東京の人は当然日帰りらしいです。そのような意味では、コアな人が色々な分野でいるのではないでしょうか。そのような人達をどのように捕まえていくかで、大きく変わってくるのでないでしょうか。
委員	ここは結構インターチェンジに近いからいいですよね。５分６分で来れますから。
委員長	インターチェンジが近いですしね。浜名湖の一番極端な例は、サービスエリアに車を置き、そこから出発してサービスエリアに戻ってくるそうです。サービスエリアの裏口のような所から一般道に出て、それで一周して戻るそうなのです。そういう意味で東京から行く人は結構行きやすいのかもしれません。車を置ける所とコースに入りやすい所は、彼らにとっては重要です。琵琶湖は一日では周れないそうです。宿の予約などを考えるとそう簡単にはいかないみたいです。上手くやればここにも来るのではないでしょうか。色々な要素があると思います。
事務局	先程副市長からも組織が変わるというお話がありました。現在、政策企画課も他課と統合するような形で話が進んでおり、評価の部分については総務課の行革の方で今後行っていく予定です。 今後事務局としては、来年３月までに、今年度担当している職員に事務事業の評価（C）改善（A）を行っていただく予定です。 また、来年度は実施計画と外部評価を並行して行っていく可能性もあるかなと思います。委員の皆さんは８月末までには任期がありますので。
事務局	今年中に担当課の方には評価をしてもらって、３月までにはきちんと調査票の方は作っていただこうと思っております。あとは、こちらの方で皆さんにお送りした、議事録と今回提出した報告書は公表する予定でいますので、もし修正場所がありましたら連絡いただきたいと思います。 この報告書も担当課の方にまだ見せていませんので、確認や議事録の方も確認してもらった後に、ホームページに掲載したいと思っております。
委員長	そちらにお知らせする期限はいつまででしょうか。
事務局	これから２週間位の期間で、担当課に議事録や報告書の内容などの確認をしていただく予定ですので、１１月中旬を目途に、メールでも電話でも構いませんので、修正箇所などがあった場合には事務局に連絡いただければと思います。 本日お渡しした報告書は、郵送やメールでも送ってありますが、その後にいくつか訂正・修正をしていますので、今日お渡しした報告書が１番新しいものです。
委員	市長が決まらないと、組織もまだ決まらないですよね。今度子ども家庭課は変わるのでしょうか。
事務局	子ども家庭課は、今までは教育委員会に属していましたが、予定では福祉部門に属することになります。健康増進課の業務・機能は保健センターにあり、職員は本庁舎にいるという予定になっております。
委員	ワンストップ化を実現したということですよね。

事務局	はい、そのようになります。
委員	対応が凄く速いなと思いました。
委員長	外部評価委員会で指摘した甲斐がありますね。
委員長	事務局がきちんと働いている気がしますね。 では名残惜しいですが、ここで外部評価委員会を閉会します。

以上